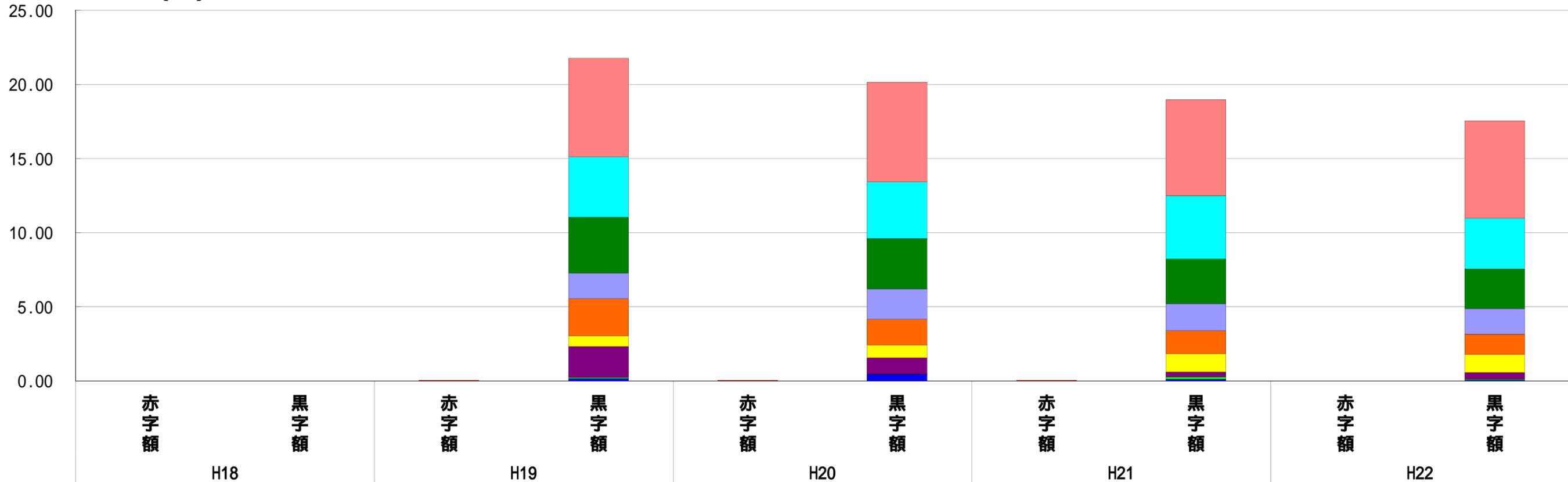


# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成22年度

岡山県笠岡市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
笠岡市水道事業会計		-	6.66	6.72	6.47	6.58
一般会計		-	4.07	3.83	4.26	3.43
笠岡市工業団地造成事業特別会計		-	3.77	3.40	3.04	2.68
笠岡市国民健康保険事業特別会計		-	1.71	2.04	1.80	1.71
笠岡市土地造成事業特別会計		-	2.52	1.74	1.55	1.37
笠岡市病院事業会計		-	0.72	0.86	1.22	1.21
笠岡市介護保険事業特別会計		-	2.09	1.09	0.35	0.46
笠岡市下水道事業特別会計		-	0.07	0.04	0.15	0.05
その他会計(赤字)		-	0.02	0.02	0.02	-
その他会計(黒字)		-	0.16	0.43	0.12	0.06

## 分析欄

・全体としては、黒字額は減少傾向に見えるが、これは工業団地特別会計や土地造成事業会計の黒字額に、所有土地の今後収入見込額が加算されているため、売れた額だけ、翌年度以降の土地収入見込み額から控除され、黒字額が減るためである。土地収入見込額を控除すれば、収支に大きな変動はない。

・平成19年度から平成21年度までのわずかな赤字は、国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計の赤字であるが、これは国民健康保険事業会計からの繰入金を純計落ちさせて、収入額が減となった額を計上しているためであり、実質的な赤字ではない。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。